南いわて牛

東京市場で高値

勝部市長に販売成績を報告した生産者の皆さん

いわい東農業協同組合と岩手南農業協同組合は昨年末、東京都港区の東京食肉市場で相次いで枝肉共励会などを開催。管内の肥育農家が育てた和牛の枝肉を販売し近年にない高値がつきました。最優秀賞など高い評価を受けた生産者の藤隆一さん、菅原和久さんらは12月17日、勝部市長を訪ね販売成績を報告しました。

販売成績は、いわい東農協が24頭、総重量1万1468㌔、総販売金額2376万1635円、㌔当たり最高枝肉単価3千円、平均単価2072円。岩手南農協が24頭、総重量1万1690㌔、総販売金額2566万3391円、㌔当たり最高枝肉単価3142円、平均単価2195円。近年、平均単価は1800円台で推移しており、今回の成績は「いわて南牛」が高い評価を受けたものとなりました。

生産農家は「ことしは景気の低迷などで価格が低く大変だったが、年末に来て良い結果を出すことができた」と語りました。勝部市長は「組織がしっかりしていて、若手生産者も育っていると聞いている。基盤が整ってきた成果。おめでとうございます」と祝福しました。

今回の共励会で販売した両農協の若手生産者で組織する「いわて南牛PRO5」(佐藤良代表、40人)は、自ら「いわて南牛」の都市部での販売に力を入れるため、来る2月7日、8日に東京都中央区銀座の「いわて銀河プラザ」で試食販売会を開催する予定。佐藤代表は「イベントは素人なので市長にも応援していただきたい」と協力を要請。勝部市長は「いわて南牛のブランドをしっかりとしたものにするため、トップセールスしたい」と応えました。

高齢者総合相談センター設置

一関地区広域行政組合では、一関西部および一関東部地域包括支援センターの一部担当地域について、法人に委託し次の「高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)」を設置しました。

◇**高齢者総合相談センターさくらまち(地域包括支援センター)**…【場所】サン・アビリティーズ一関内(三関字桜町)【担当地域】一関地域(一関・真滝・舞川・弥栄地区)☎㊽3180 FAX㉛1165

◇**高齢者総合相談センターしぶたみ(地域包括支援センター)**…【場所】大東保健センター内(渋民字大洞地)【担当地域】大東・東山地域☎㉑0053 FAX㉑1181

業務は地域包括支援センターと同じで、保健師、主任ケアマネジャーなどが行っています。

※その他の地域の人は、引き続き西部または東部地域包括支援センターをご利用ください。

◎**問い合わせ先**…一関地区広域行政組合介護保険課☎㉛3223

宝くじの助成を活用し整備

一六地区自主防災会(大東)

21年度地域防災スクールモデル事業に取り組んでいる大東町大原の一六地区自主防災会(菅原忠男会長)は、㈱自治総合センターの宝くじ普及広報事業の助成を受け、防災教育用と自主防災活動用資器材を購入整備しました。

内野小学校、大原小学校と連携して地震災害現地研修や防災まち歩き、防災マップ作成などの自主防災活動に積極的に取り組む同防災会。今回の整備を機に、小学生の防災教育や大災害が発生した場合の初動体制の確立など、地域レベルで防災活動を展開することにしています。

骨寺検定

第2回(12月15日)の答と解説

◇**正解** Q1＝② Q2＝① Q3＝②

◇**解説** 僧、※1**自在房蓮光**は藤原清衡の命により、1117年から約8年の歳月をかけて、※2**紺紙金銀字交書一切経**を完成させました。紺紙金銀字交書一切経は、金字と銀字で一行ごとに交書された装飾経で、経の奥書により、奥州江刺郡益沢院でその一部が写経されたことがわかっています。

1126年、蓮光はその功績により、清衡から中尊寺経蔵の初代別当に任じられます。その際、蓮光は私領であった骨寺村を経蔵に寄進しますが、改めて清衡から経蔵の別当領(荘園)として与えられます。これが中尊寺経蔵別当領「骨寺村」の始まりで、約300年にわたり経蔵を経済的に支えました。

蓮光が完成させた紺紙金銀字交書一切経は、豊臣秀吉の時代に、そのほとんどが**高野山**※3**金剛峯寺**などに持ち出されてしまいます。現在、中尊寺にはわずかな数しか残っていません。

大原中菊池君(砲丸投げ) ジュニア五輪で堂々4位

全国4位の成績を報告した菊池樹君(中央)

菊池樹(いつき)君(大原中1年)は10月25日、横浜市で開かれた第40回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場し、男子C(1年)砲丸投げで14㍍32を記録、4位入賞を果たしました。

12月16日、関係者4人が市役所本庁を訪問。菊池君は「大会では緊張したが、練習の成果が発揮できた。今後は表彰台を目指す」と勝部市長に報告。「さらに上を目指し頑張ってください」と祝福を受けました。

菊池君は中学入学後、砲丸投げに取り組み、朝や昼休み、野球部の練習の前などにこつこつと練習を積み重ねました。指導する特設陸上部顧問の金野伸教諭は「今後は体づくりが課題」と次の目標を見据えていました。

「けやきベーカリーズ」 全国大会で晴れの銀賞

大会には職業指導員の千田京子さん(左)、利用者の丸森優花さん(右から2人目)、加藤由紀也さん(右から2人目)の3人が出場

大東町大原の障害者福祉サービス事業所室蓬館(金野育朗施設長)の「けやきベーカリーズ」は11月27日、横浜市で行われたユニバーサルベーキングカップ菓子部門で銀賞に輝きました。

障がい者が日ごろの活動の成果を競い合う大会に、同館から利用者の加藤由紀也さん(38)、丸森優花さん(25)と職業指導員の千田京子さん(45)が出場。地元産のブルーベリーなどをたっぷり使った「けやきロール」を焼き上げました。

関係者ら4人が12月17日、市役所本庁を訪れ、勝部市長に受賞を報告。金野施設長が「大会出場後、新聞に掲載されてからは、飛ぶような売れ行き」と報告。勝部市長の祝福を受けました。

産直へ行こうよ! Vol2

古代米おりざ

(花泉町)

「コメ」にこだわって 多様な加工品を開発

ログハウス風のしゃれた外観が目を引く古代米おりざ。店名のとおり、50種類以上の古代米の加工食品と稲わら加工品を中心に、新規就農者の農産物や加工品、雑穀など交流ある産地の農産物、手工芸品などこだわりの品ぞろえが自慢です。

中でも一番人気は「古代米大福」(写真右)。もっちりとした皮に、赤米入りには白あんが、紫黒米入りには小豆あんがたっぷり入っています。

●生産、加工、販売で農業の「六次産業」化目指す

昔の稲が持っていたと推測される特徴を残している「古代稲」。各種ビタミンやカルシウムなどを豊富に含む食材としてこの古代米に佐藤正弘会長(写真中央)が注目したのは平成6年。町職員として古代米の特産品化に尽力しました。古代米を根付かせるためには誰かが専任でかかわらねば一と佐藤会長は町職員を早期退職し、仲間と古代米おりざを開店させたのが平成14年でした。

付加価値を高めるため「生産(一次)に終わらず、加工(二次)、販売(三次)とすべてを手がけ六次産業化を目指す」がモットー。今後はあくまで「米」にこだわり、「米粉を使った製品の開発をさらに進めたい」と語る佐藤会長です。

店内のお食事コーナーでは、二つのグループが曜日を決めて営業。「もちのレストランおのしげ」の店長・小野寺真人さん(写真左)は「地元の材料を使ったボリュームたっぷりのなつかしいもち料理が人気です」と語り、「日形手打ちそば」代表の小野寺恭子さん(写真右)は「地元産のこしのある手打ちそばを楽しんでほしい」と紹介してくれました。

◆**運営**…おりざの会(佐藤正弘代表)　花泉町涌津字境11-3　☎82-3372

◆**営業時間**…10:00～19:00(「もちのレストランおのしげ」は㊍～㊏11:00～14:00、「日形手打ちそば」は㊐㊊11:00～13:30)

◆**定休日**…12月30日～1月2日

次回は、「ふれあい室根旬菜館」(室根町)を訪ねます。